



企業版ふるさと納税 第1号!

四国情報管理センター株式会社様に表彰状

四国情報管理センター株式会社 代表取締役社長 中城一様から企業版ふるさと納税により100万円のご寄附をいただいたことに対し、3月28日三好市役所にて高井市長から表彰状と記念品が贈呈されました。貴社はIT企業として来年設立50周年を迎えるにあたり、これからの子育て支援事業に活用していただきたいと述べられました。三好市へのご支援に対し深く感謝するとともに敬意を表します。誠にありがとうございました。



戦国へ思いを馳せるウォーキング

戦国ゆかりの地にスポットライト

地元住民グループ、やましろ戦国 国ざかいめぐりの会が、地域の古く忘れられた戦国ゆかりのスポットを復活させようと約6キロのウォーキングイベントを4月3日に開催し、30名が参加しました。戦国ゆかりのスポットではガイドによる詳しい説明がなされ、また山伏を模した殺陣のお芝居や大歩危小唄が披露されるなど参加者を楽ませました。参加者からは「ついていけるか心配だったが、切り切れて達成感があつた」などの声が上がりました。



おお、我が池高〜♪池田高校校歌

阿波池田駅 列車接近メロディに

往年の高校野球ファンにはおなじみの池田高校の校歌が、阿波池田駅の列車接近メロディになりました。これは、今年創立100周年を迎える池田高校が記念事業の一環としてJR四国に要望し、駅や鉄道に愛着を持ってもらいたいと採用されたものです。

4月4日、阿波池田駅ホームで列車接近メロディ導入記念セレモニーが開催され、半井真司 JR 四国会長や池田高校の生徒、阿波池田商工会議所のゆるキャラ「つたは〜ん」らが出席し、特急の到着に合わせて校歌のメロディが流されました。出席した池高生は「今でも全国的に有名なことは知っていた。自分たちの校歌が聞こえて感動した」と話しました。

JR 四国では、徳島駅で「阿波よしこの」、高松駅で「瀬戸の花嫁」など地域独自の列車接近メロディを使用しており、高校の校歌は初めての導入となりました。



駅名に親しみを込め 腹つぶみ

阿波川口駅のお愛称名・駅名標 除幕式

JR 四国は、観光列車「四国まんなか千年ものがたり」が5周年を迎えるにあたり、阿波川口駅のお愛称名を「ぼんぼこ阿波川口駅」とし、4月1日、お愛称名と狸のイラストが描かれた駅名標の除幕式を行いました。

駅に愛称をつけてみては?とJR 四国からの提案を受けたことから、地域住民団体「やましろ狸な会」が、古くからの駅名を残しつつ地元小・中学生から応募されたアイデアを基に考えました。

除幕式では「やましろ狸な会」副会長の鍵山秀子さんが「普通はなかなかないことで感無量。これを機にますます地域を盛り上げていきたい」とあいさつしました。



次代を担う若者を歓迎

三好市内の事業所に新たなパワー

この春に三好市内の事業所に就職した若者を激励する三好市新規学卒就職者歓迎式が4月19日、池田総合体育館で行われました。三好市と三好市商工会および阿波池田商工会議所が主催したもので、今年は市内12事業所21人のうち、19人の就職者が出席しました。

新規学卒者を代表し日本郵便株式会社の藤野美咲さんからは「与えられた仕事に全力を尽くし、最善の努力をいたします」と決意とお礼の言葉を述べました。



厳かな中にも華やかに

桜舞う中、箸蔵寺で春の大祭

4月12日、池田町州津の箸蔵寺で春の大祭が執り行われました。

ソメイヨシノの花びらが舞い散る中で、鮮やかな法衣をまとった約20人の僧侶らが列を成し、護摩殿から278段の石段を登り本殿まで歩く「練り供養」が営まれました。

その後は本殿で、法螺貝や太鼓の音を鳴り響かせながら、勇壮な「大般若転読法要」が行われ、所願成就や疫病退散などを祈願しました。

